

# 給食だより2月号

令和3年1月20日  
給食委員会2年生

## “節分と言えば”

節分と言えば、家の戸口にヒイラギイワシを飾ったり、豆をまいて鬼を追い払ったり、恵方巻きを食べたりする行事というイメージはありませんか？恵方巻きはもともと、具を包むことで福を巻き込み、無病息災や商売繁盛を願って食べられてきたのです。ちなみに、今年の方角（恵方）は、「南南東」です！



### ★節分には何を食べてらいいの？

恵方巻きやイワシ以外にも、節分に食べると縁起の良い食べ物があります。例えば、胃を綺麗にしてくれるこんにゃくや、「大きな幸せを願う」として食べるクジラ、年の数だけ食べるという大豆（豆）があります。みなさんも厄除けや幸福などを祈って家で節分を過ごしましょう！

## “今年の節分は2月2日!?”

節分の日は、ここしばらく2月3日が続いていたが、2021年は1897（明治30）年以来124年ぶりに2月2日になる。地球が太陽を1周する時間が365日ちょうどでないためのずれで、22～24年は2月3日に戻り、25年に再び2日になる。節分は二十四節気の一つ「立春」の前日。立春は春分や秋分とともに太陽と地球との位置関係で決まり、国立天文台が計算して前年に官報で発表している。国立天文台によると、地球が太陽を1周する時間は365日より6時間弱長い。4年で約24時間のずれが生じるため、うるう年として2月29日を入れて解消しているが、これだと45分ほど増やし過ぎてしまう。400年でほぼ3日増えるため、「グレゴリオ暦」はうるう年を400年で3回減らすことにし、100で割れる年はうるう年にせず、400で割れる年はうるう年のままとした。この結果、2000年のように400で割れる年の前後の世紀は、節分などの日付がずれやすくなっている。いつもと違う日になるので、豆まきをするなら気をつけてね😊

